自然と目線を合わせながら湯舟に浸かる

窓辺の詩学

Poetics by the window

「窓」と「その隣接空間」を一緒にデザインする

都市は雑多な環境で魅力に満ちている。にもかかわらず、現状の住空間はそれらを遮断し閉鎖的なものになってしまってはいないだろうか。コロナを通して生活空間の豊かさをもう一度考えるきっかけをもらった昨今に、住宅の在り方を少しだけ変えてあげよう。具体的には雑多で豊かな都市環境を生活に取り込むことを行う。しかし、それらの都市環境を生活空間へと直接取り込むのは、少し暴力的すぎる。そこには温熱環境やプライバシーなど考慮するべきものがあるからだ。そこでデザインを通して、少しだけ整えてあげることで、それらを生活を豊かにするファクターへと昇華するのである。本提案でカギになるのは【窓辺の空間】である。窓は外部と接続するうえで最も重要なものである。しかし、同時に窓だけではそれは十分でない。本提案は窓とその内外の空間を一緒にデザインすることで、新しい住宅を目指す。

01 Family ｜ それぞれに趣味がある家族

夫（30代）：アウトドア読書が趣味

妻（30代）：カフェをしたい

長男（幼稚園児）：外遊びが好き

ペット：気ままな気分屋「猫」

本提案で想定する家族は、子供がまだ幼い３人家族。夫がカメラマンしており、アウトドアな側面を持つ。一方で、解放過ぎない空間を求める一面もある。

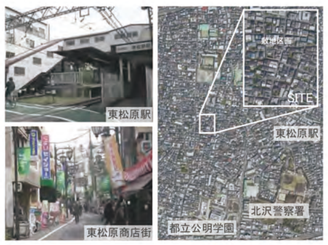
02 Concept ｜ 窓辺をデザインする

本提案は、雑多で豊かな都市という環境の中で暮らすために【窓辺】に着目し、窓の形状だけでなく、その隣接する内外の空間を同時にデザインすることで豊かな暮らしを創造するものである。そもそも日本では、縁側などの空間で開口だけではなく、窓辺としてデザインされた優れた例が多くある。本提案では、昔ながらのそういった文化を「現代版」そして複雑になっている「都市版」として再構築を試みるものであり、それは内外を緩やかに繋ぐ現代の住宅が失ってしまった豊かな暮らしを獲得するものである。

窓際の植栽と外部の自然が奥行きを作る

街の人を優しく受け入れるカフェの曲面壁

03 SITE ｜ 自然豊かな雑多な街

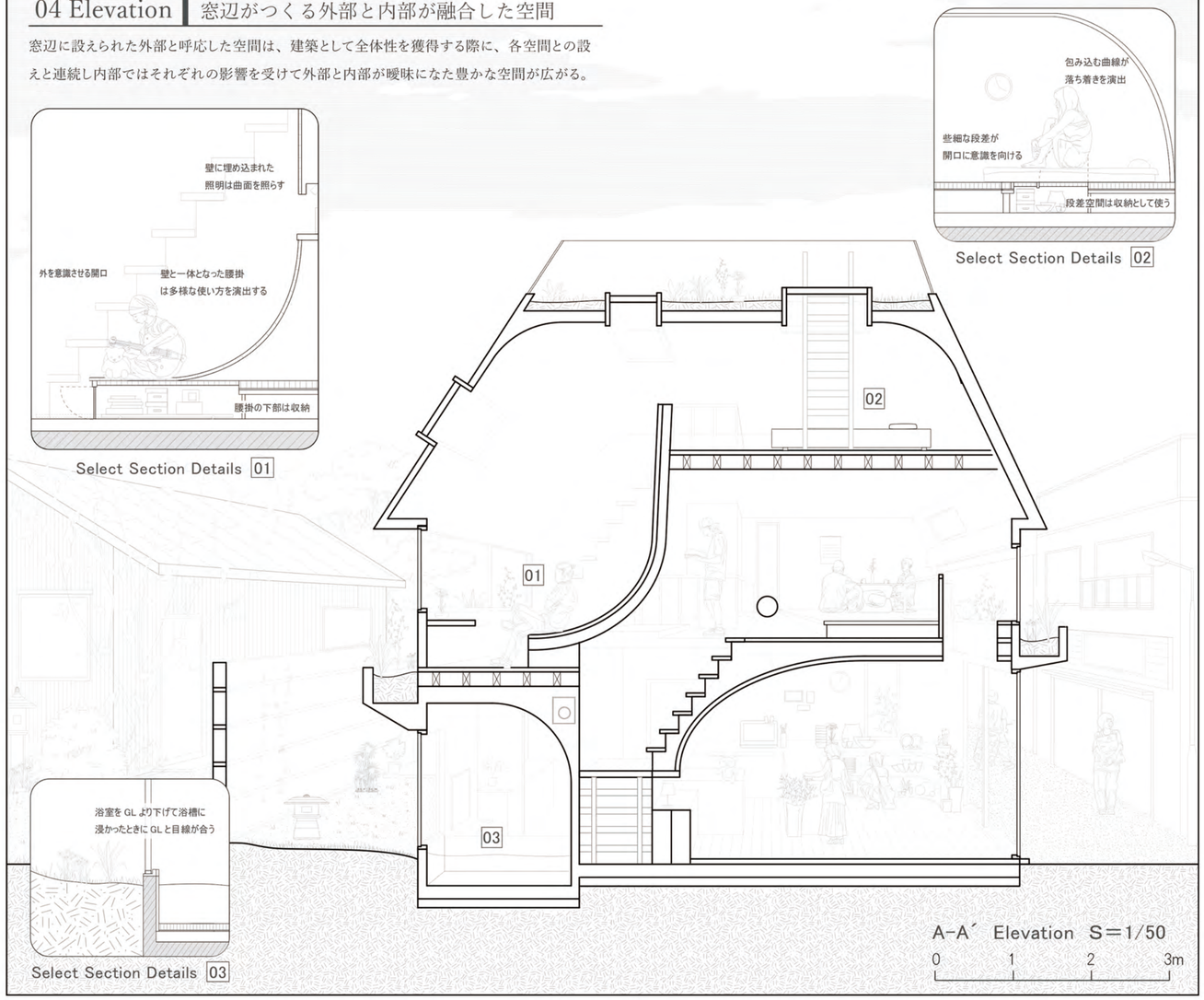
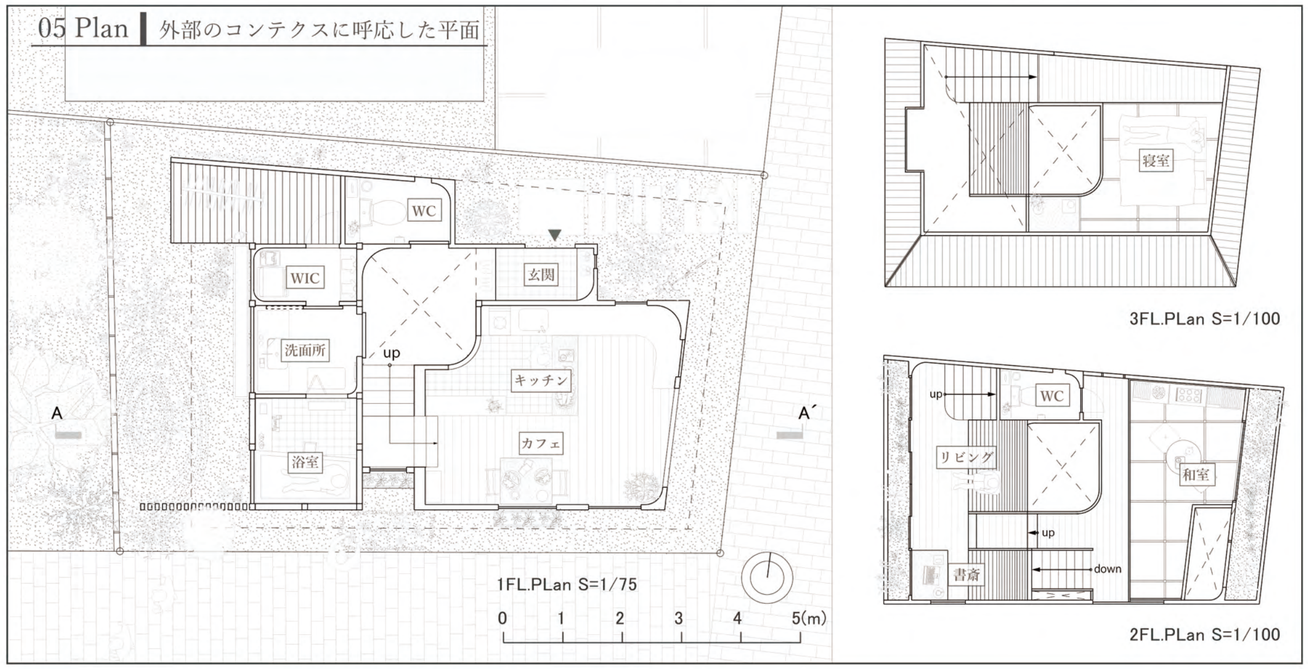


昔ながらの商店街や小学校など下町の要素が残り、都心部近郊でありながら、雑多な側面をもつ。自然環境も適度に残り住む街としての魅力は数多くある。

和室には曲面を伝った優しい光りが落ちる

04 Elevation ｜ 窓辺がつくる外部と内部が融合した空間

窓辺に設えられた外部と呼応した空間は、建築として全体性を獲得する際に、各空間との設えと連続し内部ではそれぞれの影響を受けて外部と内部が曖昧になた豊かな空間が広がる。



05 Plan ｜ 外部のコンテクスに呼応した平面